

## 令和5年度 酸性雨調査結果

### 1 調査方法

環境省の「酸性雨等調査マニュアル実施細則（平成3年1月1日公布 環境庁大気保全局大気規制課）」及び「湿性沈着モニタリング手引き書（第2版 平成13年）」により実施しました。

#### (1) 調査期間及び調査地点

(ア) 令和5年3月27日から令和6年3月27日までを1週間単位で計52週について測定

(イ) 金沢市保健所3階屋上（金沢市西念3丁目4-25）

#### (2) 測定項目及び測定方法

下表1に示します。

表1 測定項目及び測定方法の一覧

測定項目	単位	測定方法
pH	—	ガラス電極法
電気伝導度（EC）	$\mu S/cm$	白金電極法
陰イオン 5種 ① 硫酸イオン ( $SO_4^{2-}$ ) ② 硝酸イオン ( $NO_3^-$ ) ③ 亜硝酸イオン ( $NO_2^-$ ) ④ 塩化物イオン ( $Cl^-$ ) ⑤ フッ化物イオン ( $F^-$ )	mg/L	イオンクロマトグラフ法
陽イオン 5種 ① アンモニウムイオン ( $NH_4^+$ ) ② カルシウムイオン ( $Ca^{2+}$ ) ③ マグネシウムイオン ( $Mg^{2+}$ ) ④ カリウムイオン ( $K^+$ ) ⑤ ナトリウムイオン ( $Na^+$ )	mg/L	イオンクロマトグラフ法

## 2 調査結果

図1、2に示すとおり、降雨のあった45週の内、38週でpHを測定できた。さらに、31週でpHが5.6以下となり、降雨の多くが酸性雨に該当する結果となった。また、図3に示すとおり、pHの年平均は、5.07となり、昨年度の5.19から下降した。

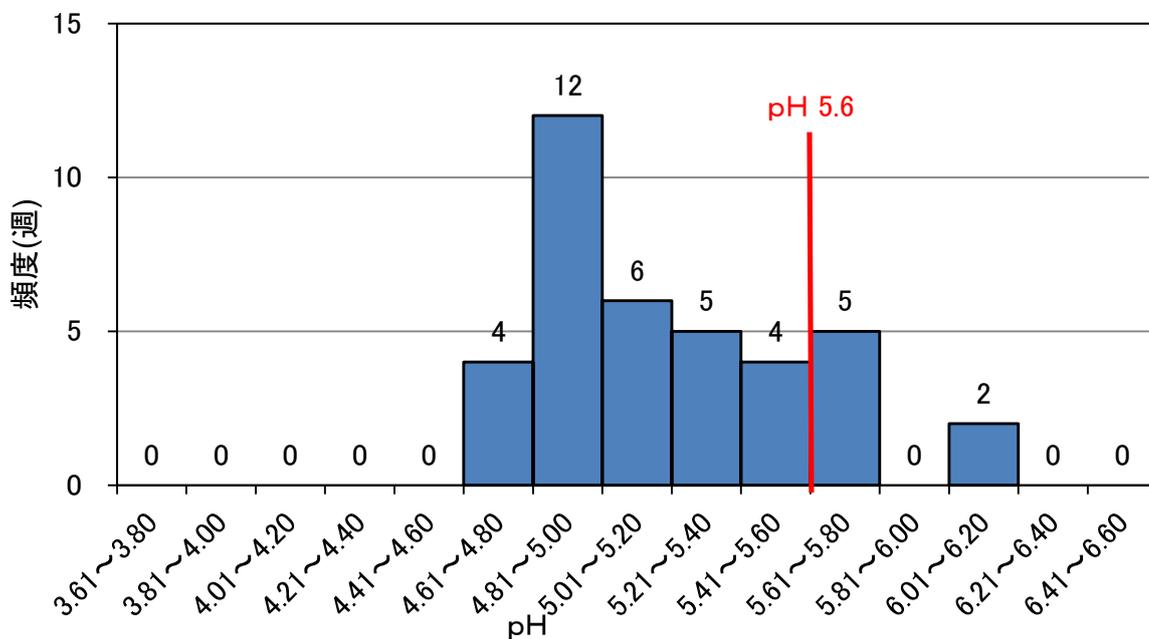


図1. pH測定結果の頻度分布

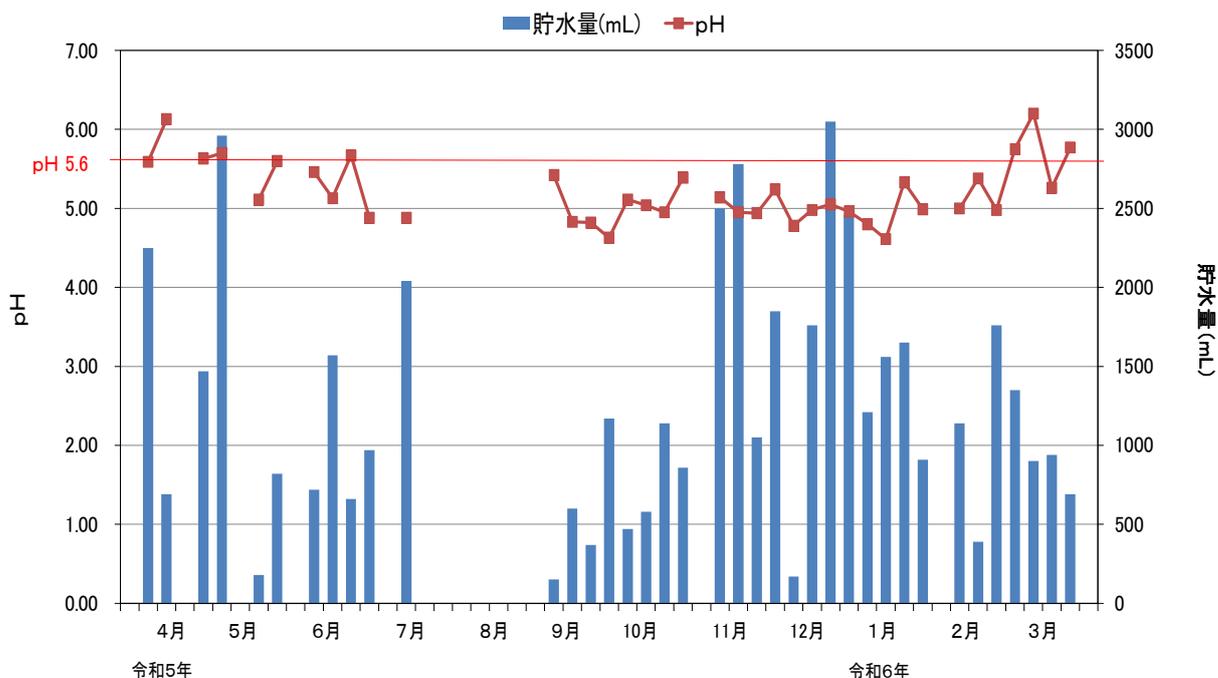


図2. pH及び貯水量の測定結果の経月変化

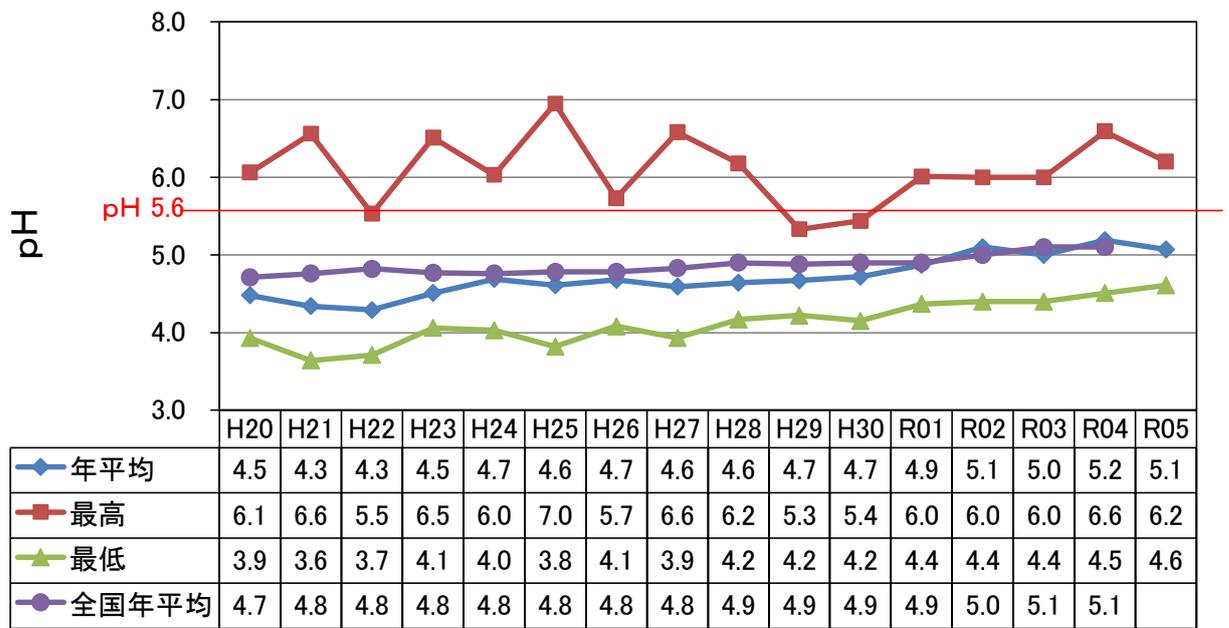


図3. pH測定結果の経年変化